

令和2年度札幌市定山溪自然の村管理業務実施報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

1 統括管理業務

(1) 管理運営業務の基本方針及び事業目標

基本方針①「雄大な自然と、たくましい開拓精神をもって築かれ、大きく発展し続ける希望のまち札幌。そのランドマークともなる定山溪の豊かな自然環境や風土、歴史を最大限活用した野外教育の拠点施設として、子どもが学び、大人が安らぎ、親子がふれあい、誰もが支えあうことができる、そんな魅力と希望にあふれる施設運営を目指します。」

②「人と人のつながり、人と自然のつながり、自然と未来のつながりを常に意識し、持続可能な社会と未来を創造する人づくりを目指します。」③「第3次札幌市生涯学習構想、札幌市の教育推進の目標及び教育推進の指針など、札幌市の生涯学習の推進に関連する諸施策を踏まえ、札幌市の野外教育施設として、常にサービスの向上と社会的課題の解決に向けての取組を実践します。」を基に業務を遂行した。

当年度は、コロナ禍における事業の中止や大幅な見直しをする結果となったが、「自然体験活動の新しい可能性」の創出を目的として、利用人数の制限や活動の制限などの感染症予防対策を取り各種事業・施設運営を行った。また、平日利用促進として、市内近郊の教育機関（小学校・中学校）7校の受け入れを行い、自然体験活動プログラムを提案した。自然体験活動をとおした教育的効果の高いプログラムの醸成をする機会となり、他事業のプログラム展開方法の検討にもつながる結果となった。

<重点目標への取り組み>

①指定管理事業部門

- ・自然体験活動に対して特別な支援を必要とする児童、団体、家族、グループを対象としたスペシャルニーズキャンプの実践とプログラム開発

スペシャルニーズキャンプモニター日帰り事業として、札幌市内中学校の特別支援学級に対し、「気軽に自然体験活動ができる」ことをテーマにプログラムの提案と実践をおこなった。事業終了後、教諭から意見とアンケートを回収し分析を行い、満足度が高く宿泊型事業の利用希望があることがわかった。次年度以降も継続して取り組みを行う。

また、令和2年秋に北海道で開催予定であった「スペシャルニーズキャンプ全国大会」については中止となった。

- ・冬季利用促進を目的とした事業の実施

集合型大規模事業（定山溪ウィンターキャンプフェスティバル）を新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため中止としたが、初心者向けの冬キャンプ体験事業を日帰り・宿泊の形態で2事業実施し、冬期利用促進につなげた。（日帰り事業：親子で「コソ練」キャンプ、宿泊事業：親子で冬キャン!!）どちらの事業についても参加申し込みを多数いただき、冬期利用に対する需要の高まりを感じた。

- ・他団体や企業との連携を強化し、利用促進に繋がる教育的効果の高い事業を多様な手法を用いて実施。

札幌市環境局との共催事業として、「ヒグマ痕跡探しバスツアー」を実施した。講師の持つノウハウと施設の持つフィールドが合致し、参加者の満足度も高い事業となった。

札幌市青少年科学館と共催予定であった「夏休み天体観望会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。

- ・各部門がもつ強みを生かしあい事業の連携強化を図る。

指定管理者である財団内の部門である市民参画課環境プラザと協力し、お互いの幼児向け事業において、人材交流を含めた事業展開を行った。それぞれのスタッフが持つ強みを生かし、事業の幅を広げることができた。

また、児童会館部門を対象に、薪割りや森歩き体験のプログラムを実施し、野外活動の機会を提供した。

②地域活動等事業

- ・施設利用の領域拡大を目指し、平日利用者向けの提供プログラムの開発。周辺フィールドを最大限活用したアドベンチャーツーリズムの要素を取り入れた教育的効果の高いプログラムの提供をおこなう。

- ・札幌市内の児童に対する自然体験活動プログラムの提供

札幌市内だけではなく、札幌近郊の小学校を含め宿泊学習 6 校の受け入れをおこない、施設における平日利用促進の可能性について考え実践を行った。定山溪遊々の森をフィールドとし、豊かな自然環境や森の循環について学ぶプログラムを開発し、教育的効果の高いプログラム提供ができたと考える。

また、開発したプログラムを活かし札幌市内児童会館への自然体験事業「ようこそ児童会館」を実施し、4 館 73 名のこどもたちに対し、プログラムの提供を行うことができた。

(3) 数値目標と実績

※目標値については、新型コロナウイルス感染症の影響があり 6 月に再設定を行った。

①冬期野外活動の提案（下期利用率）

令和 2 年度目標 27%（年度計画当初 30%）

令和 2 年度実績 32.9%

②セルフモニタリング調査（実施件数）

令和 2 年度目標 350 件

令和 2 年度実績 400 件

③実践型森林環境教育の推進（参加人数）

令和 2 年度目標 600 人（年度計画当初 1,300 人）

令和 2 年度実績 438 人

④貸室業務（利用料金収入）

令和 2 年度目標 11,900 千円（年度計画当初 18,300 円）

令和 2 年度実績 11,874 千円

(2) 平等利用の確保に向けた取組項目

施設の利用申込に際し、年齢、性別による対応の格差を生じさせないように、公平で平等な市民対応を原則として、個別の要望・事例にも誠実に耳を傾け、一人ひとりの利用者に向き合う姿勢を維持することに努めた。また、事業において、定員を超える応募があった場合は抽選によって実施した。

(3) 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進

各種事業をとおして市民の地球温暖化防止への「意識」を「行動」に変革できるよう努めた。また、エネルギー管理標準に基づき、電気・ガス・水道・燃料の使用、塵芥処理量の削減など環境へ配慮した施設運営を行ったとともに、エネルギー消費量を継続的に記録し、エネルギー消費削減意識の醸成を促した。

(4) 管理運営組織の確立

統括管理者に財団課長職を設置し、財団本部と連携しながら業務を遂行した。また、自然体験活動に関する専門的な指導、施設管理に伴う技術など、各業務において専門性を要する業務が多いことから、業務分担により職員間の業務引継ぎを行うとともに、日常的に職員研修を実施した。財団では、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等

の労働関係法令を遵守するとともに、厚生労働省ストレスチェック制度の導入及び職員のためのメンタルヘルス相談窓口を開設し（産業カウンセラー）、雇用環境維持に努めた。

(5) 管理水準の維持向上に向けた取組

財団総合ネットワークシステム及び、定例的な職員会議、担当別会議による組織内の情報共有、更新を図った。

また、利用者アンケート等から事業、管理における現状の把握と分析を行い、改善に向けた具体的な取組を策定し、利用者満足度の高い施設運営に取り組んだ。

(6) 第三者に対する委託業務等の管理

各業務とも、毎月末に業務完了届を提出させ、業務検査を実施。また、日常業務においては定期的に履行確認を行い、適正に業務が遂行されているか確認した。また、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団が利することにならないよう、第三者委託及び物品購入等において、暴力団及び暴力団関係事業者と契約しないよう積極的に取り組んだ。

(7) 札幌市及び関係機関との連絡調整

「札幌市定山溪自然の村運営協議会」を令和2年6月・11月に2回開催した。今年度については、新型コロナウイルス感染予防対策として委員の安全を最優先に考え、担当部局と協議の上書面開催とした。新型コロナウイルス感染症対策や事業の運営方法についてご意見や評価をいただいた。さらに各委員からの助言、励ましの言葉を頂戴した。また、管理運営にあたっては、関係機関との協力体制を確立し、適宜連絡調整を行った。

(8) 財務

運営資金は財団事務局で集中管理しており、電算ネットワークシステムにより、適正かつ迅速に経理処理（月次・年次決算等）を実施した。事業における参加料等は概ね収入当日または翌日には財団指定金融機関口座への預け入れを完了させ、資金管理を徹底して事故防止に努めた。

(9) 苦情対応

市民から寄せられたすべての要望・苦情等の他、施設利用後のアンケート調査内容を真摯に受け止め、解決に向け迅速かつ誠意ある対応をするとともに、スタッフ間で情報を共有し再発を防ぐよう努めた。

(10) 記録・モニタリング・報告・評価について

年間の事業計画書をはじめとする提出書類や業務日誌等の日常の記録書類、及び統計資料等、何れも当初の計画どおり確実にデータとして保存した。また、札幌市の業務検査等に対し、誠実に対応した。利用に関するアンケート調査を継続的に行い、利用満足度を測定するとともに、意見、要望の把握に努めた。

2 施設・設備等の維持管理に関する業務

(1) 総括的事項

①安全・危機管理対策

令和2年3月27日にアプローチ園路にて落石が発生したため、令和2年4月10日までは安全確保および点検調査のため施設を臨時休業とし、令和2年4月11日より営業を再開した。また、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、令和2年4月14日から令和2年5月31日までを臨時休業とした。再開後は下記のとおり対策をとり施設運営を行った。

【施設管理】

- ・「北海道スタイル」安心宣言のホームページ周知および館内掲示
- ・施設内消毒液設置および清掃時の消毒作業の実施

- ・職員のマスク、手袋の着用
- ・利用可能貸室数の制限や、コテージの対面には他グループが入らない措置、テントハウス、サイトサイトにおいては、十分に間隔を開けてグループ配置を行うよう配慮した。
- ・チェックイン時に受付番号を配布し、代表者が順番に受付を行うシステムを導入し、管理センターが密にならないよう対策した。
- ・管理センター窓口における飛沫感染予防シートの設置
- ・感染症対策が講じられない物品の貸し出し制限
- ・夏季野外炊事棟洗い場および冬季調理室の使用可能数の制限および感染予防の徹底
- ・コインシャワー室の利用停止
- ・ふれあいハウス図書コーナーの利用停止

【事業運営】

- ・事業参加定員を50%に削減
- ・ボランティア活動の中止
- ・混食を防ぐために調理活動の制限（家族、グループ単位での活動とした）
- ・家族単位を軸としたプログラムに変更
- ・宿泊型事業を日帰りに変更
- ・同一事業を複数日設定およびプログラム時間の変更

②宿直業務

宿泊利用があった場合は、不備なく職員を配置した。また、巡回により村内の状況を把握し、急病や不測の事態に対しては利用者の納得が得られるよう誠意を持って対応した。

③連絡体制確保

各関係機関との連絡体制を整備した。

④保険加入

施設賠償保険をはじめ、事業等においてそれぞれに適した保険に加入した。

(2) 施設、設備等の維持管理

①清掃業務

村内の建物及び主要箇所の日常清掃、ワックス掛けやガラス清掃等の定期清掃は専門の清掃会社に委託し実施した。また、巡回点検により臭いや突発的な汚れに対処し、衛生管理に努めるとともに、利用者に対しても原状回復への協力を求めた。

ア 日常清掃業務（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は通年）

イ 定期清掃業務

（委託業者は株式会社ベルックス、実施日は令和2年6月17日、11月13日）

ウ 館内外の日常点検（日常点検として指定管理者が実施）

エ 塵芥処理業務

塵芥処理は、専門処理事業者に委託して実施した。また、利用申込受付時点でゴミの持ち帰りと呼びかけ協力を求めるとともに環境保全を啓発しゴミの少量化を図った。（委託業者は（一財）札幌市環境事業公社、実施期間は通年）

②警備業務

夜間警備や駐車場警備、年末年始を含めた休業日等の警備など主たる警備業務は専門の警備会社に委託し実施した。また、事故や自然災害など不測の事態に対しては、緊急連絡体制を整備、その対応に備えた。

ア 警備業務

- I 警備業務（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は通年）
- II 駐車場整理・夜間警備業務
（委託業者は株式会社ベルックス、実施期間は令和2年4月29日～令和2年11月30日）

イ 火災・事故の防止（日常点検として指定管理者が実施）

ウ 火災・事故等不慮の事故が発生した時の緊急対応（緊急連絡網による）

③施設及び設備の保守点検業務

設備点検業務については以下の項目毎に実施した。自家用電気工作物保守点検など専門技術を要するものについては、専門業者に委託して実施し、それ以外は、指定管理者が日常業務として実施した。

ア 電気設備保守業務

- I 電気保安業務（日常点検として指定管理者が実施した）
- II 館内外放送設備保守管理（ 〃 ）
- III 館内外照明設備保守管理（ 〃 ）
- IV 自家用電気工作物保守点検業務
（委託業者は山口電気管理事務所、定期点検を毎月1回、年次点検実施日は令和2年10月19日に実施）

イ 機械設備保守業務

- I 給湯設備保守点検（日常点検として指定管理者が実施した）
- II 換気設備保守点検（ 〃 ）
- III 給排水設備保守点検（ 〃 ）
- IV 受水槽清掃、11項目の水質検査、汚水槽清掃、汚水ポンプ清掃・点検
（委託業者はパイプ技研工業株式会社で、実施日は令和2年6月11日）
- V 受水槽外観、給排水ポンプ、遊離残留塩素測定各法定点検
（毎週金曜日に指定管理者が実施）
- VII 給湯ボイラー設備保守点検業務
（委託業者は株式会社ベルックス、実施日は令和2年9月17日、令和2年11月12日、令和3年3月16日）

ウ 施設保守業務

各施設が正常に機能していることの確認は、基本的に巡回点検によって実施した。また、利用者や清掃員等からの具体的な機能低下の報告に対し、迅速に対処した。主な施設のほか付帯施設を含めた総合的な保守点検については、指定管理者の巡回点検により実施し施設の細部に至るまで状況把握に努めた。

エ 修繕業務

各施設、施設設備については利用者が安全に使用できる環境を整備するため、また、運営において施設管理上必要な物については、迅速に修繕対応を行い、不備のないように努めた。

（一部修繕内容について以下のとおり。）

- ・管理センター網戸張替え業務
- ・管理センター排煙扉修繕業務
- ・コテージ水抜栓修理業務
- ・コテージ床下修繕業務
- ・コテージトイレ漏水修繕業務
- ・暖房修繕業務（コテージ・警備室）
- ・トイレ修繕業務（コテージ・ふれあいハウス）

- ・除雪機修繕業務
- ・ホイールローダー修繕業務
- ・ナトリウムランプ交換業務

④外溝緑地管理業務

ア 植生育成管理業務

植生の管理については、冬期間の降雪時期を除き、その主たる業務に関しては、専門業者に委託し実施した。また、簡易的な剪定や移植等については指定管理者が実施した。

(委託業者は株式会社札幌リゾート開発公社、実施期間は令和2年6月1日～10月31日)

イ 防虫消毒業務

時期的に大量発生し、不快感や直接害を及ぼすカメムシやアリなどについては、忌避剤や防虫剤を常備し、随時対処した。また人体ショック症状等の危険を伴うスズメバチに対しては、村の外周に捕獲器を配置し村内への侵入防止に努めた。

⑤除雪業務

駐車場及び村内主要道路については、専門業者に委託して実施した。また、各施設周りや主要活動場所等については指定管理者が除雪し、屋根の雪下ろし、各施設の雪庇落とし及び落雪危険箇所の立ち入り制限なども併せて実施した。(委託業者は中定建設工業株式会社、期間は令和2年12月1日～令和3年3月31日)

⑥その他施設の維持に必要な業務

視聴覚機材の保守点検や公用車の維持管理及びテントサイトの芝生管理等は、必要に応じて指定管理者が実施した。また、施設の雪や氷の影響に対する補強及び風や低温に対する防護など越冬対策を確実に実施した。備品管理については確認、修繕を行い、適正に使用できる状態を保持した。

- ア 視聴覚機材保守点検 (日常点検として指定管理者が実施)
- イ 公用車の維持管理 (法定点検、オイル交換、洗車等の実施)
- ウ 施設の衣替え業務 (春季、秋季に計画どおり実施)
- エ テントサイトメンテナンス業務 (芝の手入れ等を実施)
- オ 産業廃棄物の処理
- カ 自然の村内外の危険木(倒木、支障木)処理

⑦防災業務

消防設備保守点検業務、消防訓練の実施。消防設備については、当初の計画通り専門業者に委託(委託業者は株式会社ヤシマ商会、実施日は令和2年10月19日、令和2年2月17日)し保守点検を実施するとともに、消防訓練を行い緊急事態に備えた。

⑧野生生物対策業務

春の雪解けと共に電気柵を設置し、ヒグマの活動が収束する冬までの間、その機能を維持するための点検及び電圧の調整を行った。また自然の村活動エリアの巡回監視コースを週3回程度及び小学校夏季休業期間は毎日巡回パトロールを実施し、利用者の安全を確保した。

また、関係研修会への参加により職員のスキルアップを行った。

3 事業の計画及び実施に関する業務

(1) 自然体験活動のため、自然の村の施設を使用させ、必要な指導助言を行う業務

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
教育期間 宿泊活動支援事業 団体指導事業	札幌近郊の小学校宿泊学習の受け入れを行い、森林観察やまき割り体験、炊事体験などのプログラム提供を行った。各学校のニーズに応え、時程調整などを随時実施した。	7校 258人
森の工作会	自然素材を用いた創作活動をととして、自然に対する理解を深める機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
飯ごう・羽釜ご飯体験会	・キャンプ活動に必要な基本的技術や火の扱い方を習得する機会を提供した。 ・手軽に参加できる環境を整え、アウトドアクッキングの魅力を伝えた。	152人
石窯料理体験	・石窯を使用し、ピザ等のオープン料理を体験することによりグループでの共同料理を楽しむ機会を提供した。 ・手軽に参加できる環境を整え、アウトドアクッキングの魅力を伝えた。	744人
ドラム缶風呂体験	日常では経験することの難しいドラム缶を用いた風呂の体験を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
森の観察会	周辺フィールドを散策し、樹木、野草、水辺の生物等を観察しながら森歩きを楽しむ機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
銀河の会	星空や天体の観望を行い、市民の学習機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
キャンプファイヤー	週末および夏休み期間に全宿泊者対象の全体交流の場を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
ナイトハイク	夜行性の動物や夜の森の様子を知ることを目的とし、夜間の特性を生かした自然体験の機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
わくわくらリー	幼児・小学生を対象とし、自然の村全体を歩き回るウォークラリーを実施した。	379人
遊歩道クイズ	入口ゲートから管理センターへ至るまでの遊歩道に動物の足跡を白のペンキでペイントし、その足跡が何の動物であるかを考えるクイズを設置した。	随時

(2) 自然体験活動の普及振興に関する業務

ア 石狩森林管理署との業務提携している「定山溪遊々の森」をフィールドとした事業として、「昆虫博士キャンプ」・「森の探検隊」・「ようこそ児童会館」・「定山溪森のようちえん」・「定山溪スノーシューツアー」を実施し、森林環境教育の新たなプログラム開発に努めた。

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
フルーツ・スイーツ倶楽部	果物の収穫体験と収穫産物を活用した菓子作りを行う予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため調理プログラムを中止し、収穫体験のみを実施した。 協力:札幌市北方自然教育園	3組10人 ※当初予定 10組

スペシャルニーズ キャンプ	中学校の特別支援学級を対象に、自然散策や野外調理体験プログラムの提供を行った。モニタープログラムとして実施し、終了後教員からアンケートを回収し検証を行った。	1件 7人
森の図書館	自然の中で本に親しむ機会を提供し、市民に対して新たな読書環境の提案を行う予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
森の探検隊	森林管理署と事業協定を締結している「定山溪遊々の森」において森林環境教育プログラムを体験し、森からの学びを身近な自然や地域環境への理解につなげる機会を提供した。コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止とした。	3回 10組30人 ※当初予定 4回 各回10組
昆虫博士キャンプ	・小学生を含む親子を対象とし、昆虫とのふれあいをおして身近な地域環境に目を向けるきっかけとなる機会を提供した ・コロナウイルス感染症拡大防止のため、宿泊事業を日帰り事業に変更するなどして事業を実施した。 [redacted]	4回 15組48人 ※当初予定 5回 各回10組
昆虫博士中学生	中学生を対象に、昆虫をとおした自然体験の提供をおこない同じ分野に興味のある仲間との出会いや将来について考える事業を実施予定であったがコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
社会的課題解決事業	自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子どもの貧困など社会的課題の解決に向かう事業を実施予定であったがコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
ヴァレッジ・クリスマス	ボランティア主体の事業であるため、コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型事業は中止とし、職員が室内装飾のみ実施した。	随時
インターンシップ	教育機関と連携し、施設管理や主催事業の運営サポートなどに関わっていただき、学生の実習支援を行った。	3回 3名
ボランティアスタッフ 育成	各種自然体験活動・主催事業をサポートするボランティアの登録をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業については中止とした。	登録12人 育成事業 中止
親子で『コン練』 キャンプ	・上半期はコロナウイルス感染症拡大防止のため集合型事業を中止し、練習プログラムの提供を行う期間を設定したが、参加者なしであった。 ・下半期は冬キャンプ未経験の親子を対象に、キャンプに必要な道具や技術の練習の場を集合型事業で実施した。	1回 3組10人 ※当初予定 2回 各回10組
ようこそ ファミリーキャンプ	キャンプ初心者の親子を対象に、宿泊キャンプの体験を行える事業を実施する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
定山溪森のようちえん	・野外活動を取り入れた子育て支援の場とし、宿泊型キャンプを体験する機会を提供した。 ・札幌市環境プラザに協力していただき、プログラムの企画立案と運営を共同実施した。 ・全2回の予定であったが、第1回はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	1回 3組10人 ※当初予定 2回 各回10組
親子で冬キャン!!	冬キャンプに関心のある親子を対象に、雪上テント設営やテント泊体験など家族単位の冬期野外活動の促進を図る機会とした。	1回 3組14人 ※当初予定 5組

定山溪で ストレッチと森歩き	地域住民や定山溪地区観光客を対象に、自然散策およびストレッチ運動をし、地域の魅力発見と健康維持増進につなげる機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
提案型団体誘致事業	「ようこそ児童会館」の児童向けプログラムをもとに自然体験プログラムを提案した。後志管内の小学校を中心に施設資料を送付し積極的な誘致を行った。	13校
冬季テント泊 チャレンジプラン	冬期キャンプ初心者を対象に、冬季のテント泊やアクティビティを体験する機会を定山溪ウインターキャンプフェスティバル時に開催予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
定山溪 スノーシューツアー	コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、集合型事業を中止し、プライベートツアー型に変更して事業実施した。参加者の体調や目的・ニーズに合わせて体験を提供した。	5回 12人 ※当初予定 1回 15組

(3) 自然体験活動に関する調査研究、資料の収集及び提供に関する業務
具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
気づきのメッセージ	メッセージボードを設置し、施設で過ごす上での利用者の気づきや発見などの情報をシェアし交流促進を図ることのできる空間作りに努めた。	268人

(4) その他自然の村の設置目的を達成するために必要な業務

- ア 利用者に貸出・提供する野外活動用品等の提供については、ランタンや焚き火台、焚き火用薪等を揃え、利用者のキャンプ活動を支援した。
- イ 貸室事業において利用者のニーズに応えるため、キャッシュレス決済の導入に向けて、調査と検討を行い、運用に向けて準備を進めた。
- ウ SNSを活用しての情報発信においては、Facebook・Instagramなどを活用し、事業情報だけでなく、施設情報や四季情報を配信し施設PRを行った。

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
定山溪ウインター・ キャンプ・フェスティバル	冬季キャンプスタイルを提案するとともに、アクティビティを紹介することにより、より豊かなアウトドアの楽しみを知り、キャンプに親しんでいただく機会を提供する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
他施設・団体連携事業	公的施設と連携し、共同企画事業を展開した。 ①ヒグマ痕跡探しバスツアー (主催:札幌市環境局) ・全3回の予定であったが、第1～2回はコロナウイルス感染症拡大防止のため主催者から中止の申出があった。 ②夏休み天体観望会 (連携:札幌市青少年科学館) ・コロナウイルス感染症拡大防止のため主催者から中止の申出があった。	①1回 25名 ※当初予定 3回 ②中止
アウトドアクッキング	・野外科理道具や食材に関する情報提供や調理体験の機会提供を行った。 ・全5回の予定であったが、第1～3回、第5回はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	1回 2組9人 ※当初予定 5回5組

アウトドアプレミアム クッキング	野外料理に精通した講師を招致し、専門的な野外料理体験の提供を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	中止
ウィークデイ プログラム	・専門的なテーマに精通した講師を招き、キャンプ活動の幅を広げる機会を提供した。 ・全5回の予定であったが、第1～3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 [REDACTED]	2回 17人 ※当初予定 5回 各回10名
広報 プレスリリース	・公的機関、民間報道機関等への情報提供を行った。 ・ホームページ、SNS等の情報発信ツールを活用し自然や施設等の情報提供を行った。	随時
調査・研究	モニタリング調査(上半期200件、下半期200件)や利用者アンケート(通年)を実施し、社会のニーズを捉え、活用できるように分析を行った。	モニタリング 調査 400件 アンケート 随時

(5) 自主事業の実施

具体的な事業実施報告は以下のとおり

事業名	実施状況	参加者数等
ようこそ児童会館	児童会館を利用する児童を対象に、野外活動の機会を提供した。薪割り体験や森歩き、薪割り体験などのプログラムを実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上半期と下半期1館が中止となった。	5館 63人 ※当初予定 12館
清涼飲料水等の販売	管理センター前及びふれあいハウス内に自動販売機を設置し、清涼飲料水等の販売を実施した。	通年

4 施設の利用等に関する業務（具体的な利用状況等）

(1) 令和2年度施設利用状況

資料1のとおり

(2) 令和2年度利用料金収入状況

資料2のとおり

(3) 令和2年度利用料金収入算出表

資料3のとおり

5 その他

(1) インターネットを活用した web 予約システムの導入

定山溪自然の村のホームページから貸室の予約ができる「web 予約システム」を構築し、稼働に向けての準備を進めた。

(2) 非接触決済システムの導入調査

非接触決済の導入に向けて、利用者のニーズを把握するためにアンケート調査を実施した。

(3) 広報活動等

① ソーシャルネットワークサービス（SNS）の活用

ホームページ内においてソーシャルネットワークサービスを展開し、Facebook および instagram にて施設案内や事業案内を発信し、利用者のニーズや目的に合った情報提供を行った。

② 情報提供、広報掲載

公的機関、民間報道機関等への情報提供を行い、雑誌や書籍の紙面・インターネットサイトなどに広報掲載を行った。

6 令和 2 年度利用者アンケート集計

資料 4 令和 2 年度利用者アンケート集計および資料 5 令和 2 年度モニタリング集計のとおり

7 収支決算

別紙 2 のとおり

令和2年度 施設利用状況

令和2年度(2020年度)

(1)利用者別利用状況

札幌市定山溪自然の村

項目	利用者	親子	学 校					青少年 団体	指導者 団体	官庁内	その他	主催事業	計
			幼稚園等	小学校 中学校	高校	大学 専門学校	盲聾養護 学校						
累 計	団体数	3,873	0	8	0	0	0	0	0	0	0	11	3,892
	実利用者数	13,847	0	364	0	0	0	0	0	0	0	114	14,325
	延利用者数	25,410	0	615	0	0	0	0	0	0	0	142	26,167

※累計＝令和2年4月からの累計

(2) 宿泊別団体数 (3) 施設別利用人数

泊数	団体数		累 計
1泊	2,949	コテージ	5,645
2泊	128	テントハウス	4,157
3泊	6	テントサイト普通	3,407
4泊	0	テントサイト特別	1,116

(4) 月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿 泊	団体数	39	0	304	345	481	341	202	253	159	357	320	408	3,209
	実利用者数	125	0	1,056	1,360	2,173	1,501	967	843	479	1,180	956	1,255	11,895
	延利用者数	250	0	2,085	2,673	4,399	3,023	1,861	1,756	961	2,318	1,936	2,475	23,737
日 帰 り	団体数	14	0	77	75	67	69	44	63	41	66	86	81	683
	実利用者数	41	0	288	324	233	254	276	183	118	176	262	275	2,430
見学・下見など		8	0	48	34	16	32	22	7	4	13	6	8	198

*見学・下見などの人数は利用人数に含まない

(5) 利用形態別利用状況

	家族・小グループ				学校等団体				グループ数計			実利用者数計			延 利 用 者 数	下 見 ・ 見 学 等
	グループ数		実利用者数		グループ数		実利用者数									
	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	宿泊	日帰	合計	宿泊	日帰	合計		
累 計	3,200	673	11,616	2,231	9	10	279	199	3,209	683	3,892	11,895	2,430	14,325	26,167	198

*延利用者数＝前日からの宿泊人数＋当日の利用人数

*見学・下見等の人数は利用者数には含まない

*累計＝令和2年4月からの累計

(6) 施設別利用率

	コテージ(20)			テントハウス(10)			テントサイト普通(22)			テントサイト特別(4)			全体(56)	
	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数 (家族等)	使用数 (団体)	使用率	使用数	使用率
累 計	1,505	112	29.1%	1,186	9	42.4%	2,070	27	33.8%	786	0	69.7%	5,695	36.1%

*累計＝令和2年4月からの累計

令和2年度 利用料金収入状況

令和2年度(2020年度)
札幌市定山溪自然の村

[現金収入-施設別]

	累 計		
	施設数	現金	
コテージ	1,617	6,290,040	
テントハウス	1,195	4,083,790	
テントサイト	普通	2,097	853,080
	特別	786	346,200
累 計	5,695	11,573,110	

[現金収入-利用形態別]

	宿 泊		日 帰 り		延 長		合 計	
	施設数	現金	施設数	現金	施設数	現金	施設数	現金
累 計	4,647	11,016,820	1,048	535,430		20,860	5,695	11,573,110

[後納分]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	148,050	24,000	0	172,050

[取消料]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	102,400	15,790		118,190

[施設利用料金総合計]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	11,267,270	575,220	20,860	11,863,350

※取消料未収分は含まない

[減免額 *参考]

	宿 泊	日 帰 り	延 長	累 計
累 計	352,430	44,770	0	397,200

令和2年度 利用料金収入算出表

令和2年度(2020年度)
札幌市定山溪自然の村

		コテージ		テントハウス		テントサイト				合 計		現金収入	延長収入額	後納額	取消料	合 計	減免額
		宿泊 (室数)	日帰り (室数)	宿泊 (室数)	日帰り (室数)	普通		特別		施設数	施設 使用料						
						宿泊 (室数)	日帰り (室数)	宿泊 (室数)	日帰り (室数)								
4月	一般利用	16	3	11	1	19	12	8	0	70	137,500	137,500	0	0	0	137,500	2,240
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	16	3	11	1	19	12	8	0	70	137,500	137,500	0	0	0	137,500	2,240
5月	一般利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	一般利用	111	31	75	10	180	61	74	10	552	1,000,920	995,970	4,950	0	0	1,000,920	19,900
	団体利用	0	0	0	0	0	2	0	0	2	340	340	0	0	0	340	0
	計	111	31	75	10	180	63	74	10	554	1,001,260	996,310	4,950	0	0	1,001,260	19,900
7月	一般利用	154	27	84	15	183	54	84	10	611	1,247,700	1,242,500	5,200	0	6,300	1,254,000	15,980
	団体利用	0	0	0	0	0	9	0	0	9	1,530	1,530	0	0	0	1,530	0
	計	154	27	84	15	183	63	84	10	620	1,249,230	1,244,030	5,200	0	6,300	1,255,530	15,980
8月	一般利用	224	12	157	17	234	64	100	10	818	1,863,520	1,861,460	2,060	0	22,700	1,886,220	24,520
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	224	12	157	17	234	64	100	10	818	1,863,520	1,861,460	2,060	0	22,700	1,886,220	24,520
9月	一般利用	154	10	111	12	176	71	84	8	626	1,310,210	1,309,690	520	0	25,720	1,335,930	26,740
	団体利用	19	0	0	0	0	5	0	0	24	37,510	850	0	36,660	0	37,510	47,940
	計	173	10	111	12	176	76	84	8	650	1,347,720	1,310,540	520	36,660	25,720	1,373,440	74,680
10月	一般利用	83	9	79	5	90	41	44	4	355	775,820	774,260	1,560	0	11,640	787,460	19,490
	団体利用	53	33	3	0	0	2	0	0	91	147,090	11,700	0	135,390	0	147,090	166,850
	計	136	42	82	5	90	43	44	4	446	922,910	785,960	1,560	135,390	11,640	934,550	186,340
11月	一般利用	97	8	94	15	119	48	50	20	451	877,830	875,890	1,940	0	14,580	892,410	4,700
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	97	8	94	15	119	48	50	20	451	877,830	875,890	1,940	0	14,580	892,410	4,700
12月	一般利用	66	9	54	9	66	20	24	18	266	537,760	536,780	980	0	1,500	539,260	1,880
	団体利用	0	0	0	6	0	0	0	0	6	7,800	7,800	0	0	0	7,800	0
	計	66	9	54	15	66	20	24	18	272	545,560	544,580	980	0	1,500	547,060	1,880
1月	一般利用	159	9	127	18	150	49	48	24	584	1,330,090	1,329,610	480	0	8,500	1,338,590	23,800
	団体利用	4	0	0	0	0	0	0	0	4	6,840	6,840	0	0	0	6,840	7,560
	計	163	9	127	18	150	49	48	24	588	1,336,930	1,336,450	480	0	8,500	1,345,430	31,360
2月	一般利用	117	15	113	20	135	66	56	22	544	1,047,480	1,045,760	1,720	0	8,800	1,056,280	12,900
	団体利用	3	0	0	0	6	3	0	0	12	17,610	17,610	0	0	0	17,610	0
	計	120	15	113	20	141	69	56	22	556	1,065,090	1,063,370	1,720	0	8,800	1,073,890	12,900
3月	一般利用	168	23	149	10	158	74	74	14	670	1,397,610	1,396,160	1,450	0	18,450	1,416,060	22,700
	団体利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	168	23	149	10	158	74	74	14	670	1,397,610	1,396,160	1,450	0	18,450	1,416,060	22,700
合 計		1,428	189	1,057	138	1,516	581	646	140	5,695	11,745,160	11,552,250	20,860	172,050	118,190	11,863,350	397,200

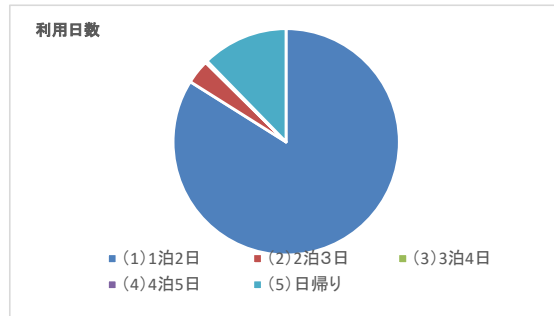
札幌市定山溪自然の村 アンケート(宿泊利用者用)集計

アンケート実施期間: 令和2年4月1日～令和3年3月31日

利用件数(サンプル数):	3,765 件
アンケート回収数 :	1,877 件
アンケート回収率 :	50%

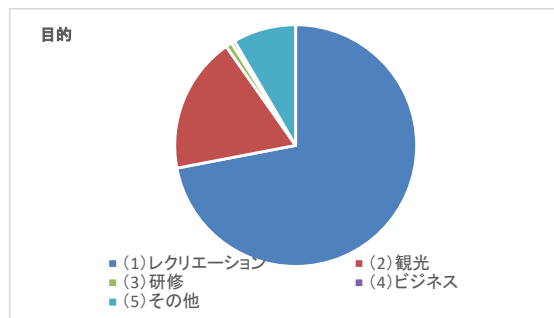
●ご利用日

利用日数	件数	割合
(1)1泊2日	1,571	83.9%
(2)2泊3日	65	3.5%
(3)3泊4日	4	0.2%
(4)4泊5日	1	0.1%
(5)日帰り	231	12.3%
総計	1,872	100.0%



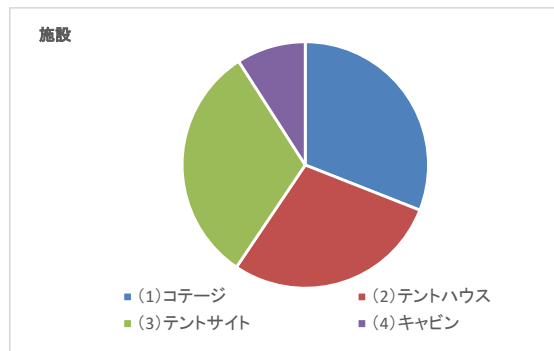
●ご利用目的

目的	件数	割合
(1)レクリエーション	1,290	72.0%
(2)観光	327	18.3%
(3)研修	15	0.8%
(4)ビジネス	8	0.4%
(5)その他	151	8.4%
総計	1,791	100%



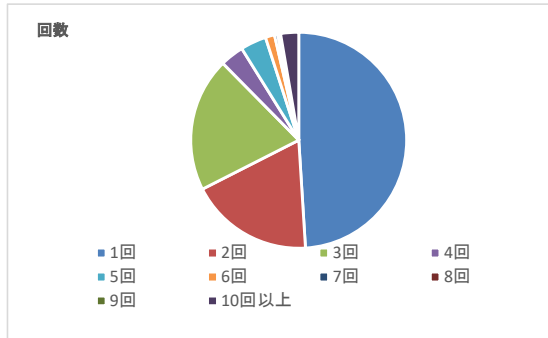
●利用施設

Q-1	件数	割合
(1)コテージ	574	31.0%
(2)テントハウス	528	28.5%
(3)テントサイト	584	31.5%
(4)キャビン	168	9.1%
総計	1,854	100.0%



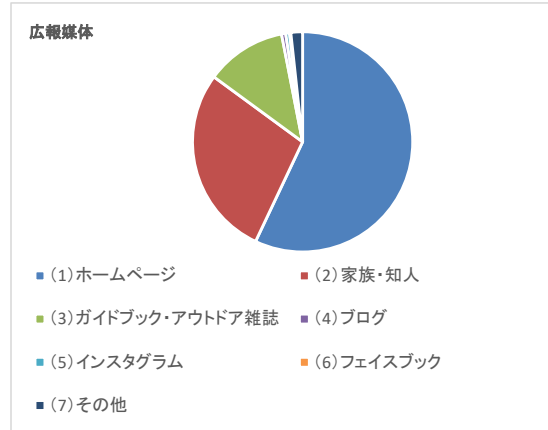
●ご利用回数

利用回数	件数	割合
1回	914	49.0%
2回	345	18.5%
3回	375	20.1%
4回	66	3.5%
5回	72	3.9%
6回	26	1.4%
7回	9	0.5%
8回	6	0.3%
9回	2	0.1%
10回以上	50	2.7%
総計	1,865	100%



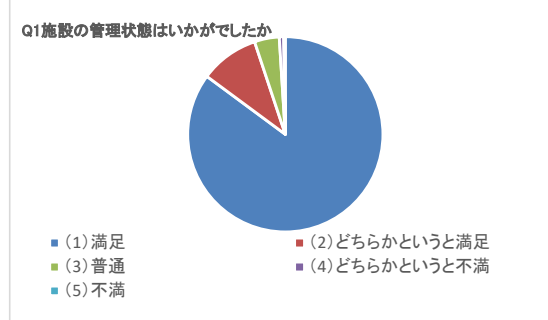
●自然の村のことは何によって知りましたか
※前項にて「1」を回答したもののみ

広報媒体	件数	割合
(1) ホームページ	596	57.0%
(2) 家族・知人	293	28.0%
(3) ガイドブック・アウトドア雑誌	124	11.9%
(4) ブログ	6	0.6%
(5) インスタグラム	6	0.6%
(6) フェイスブック	2	0.2%
(7) その他	18	1.7%
総計	1,045	100.0%



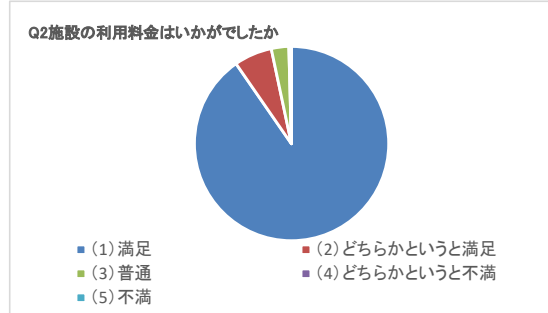
Q-1 施設の「管理状態」はいかがでしたか

Q-1	件数	割合
(1) 満足	1,568	85.1%
(2) どちらかという満足	180	9.8%
(3) 普通	76	4.1%
(4) どちらかという不満	13	0.7%
(5) 不満	5	0.3%
総計	1,842	100.0%



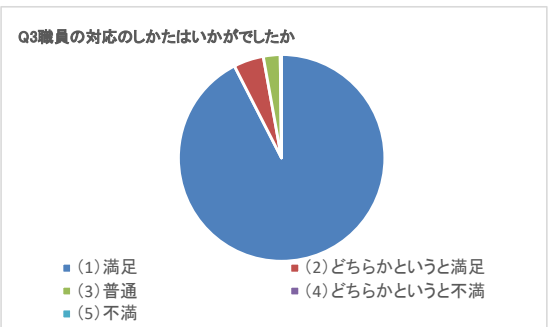
Q-2 施設の料金はいかがでしたか。

Q-2	件数	割合
(1) 満足	1,664	90.3%
(2) どちらかという満足	116	6.3%
(3) 普通	54	2.9%
(4) どちらかという不満	7	0.4%
(5) 不満	1	0.1%
総計	1,842	100.0%



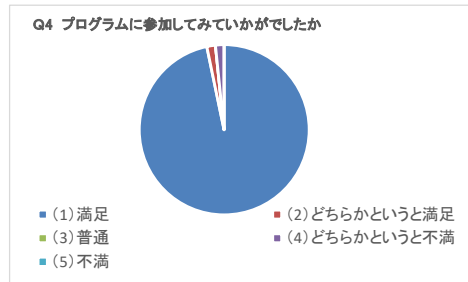
Q-3 職員の対応のしかたはいかがでしたか

Q-3	件数	割合
(1) 満足	1,704	92.5%
(2) どちらかという満足	87	4.7%
(3) 普通	48	2.6%
(4) どちらかという不満	4	0.2%
(5) 不満	0	0.0%
総計	1,843	100.0%



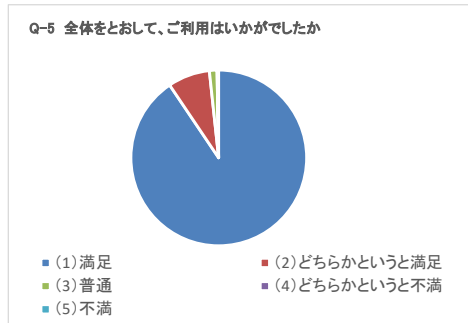
Q-4 「プログラム」に参加してみたいかがでしたか

Q-4	件数	割合
(1)満足	59	96.7%
(2)どちらかというと満足	1	1.6%
(3)普通	0	0.0%
(4)どちらかというと不満	1	1.6%
(5)不満	0	0.0%
総計	61	100.0%



Q-5 全体をとおして、ご利用はいかがでしたか

Q-5	件数	割合
(1)満足	1,441	90.6%
(2)どちらかというと満足	123	7.7%
(3)普通	22	1.4%
(4)どちらかというと不満	2	0.1%
(5)不満	3	0.2%
総計	1,591	100.0%



Q-6 定山溪自然の村では各種活動プログラムを用意しています。
今回あなたが参加したものはどれですか。また、実際に参加してみたいかがでしたか。

①森の観察会

森の観察会	件数	割合
(1)満足だ		
(2)どちらかというと満足だ		
(3)どちらともいえない		
(4)どちらかというと不満だ		
(5)不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

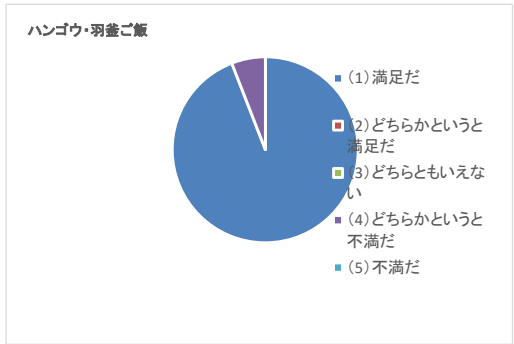
②森の工作体験

森の工作体験	件数	割合
(1)満足だ		
(2)どちらかというと満足だ		
(3)どちらともいえない		
(4)どちらかというと不満だ		
(5)不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

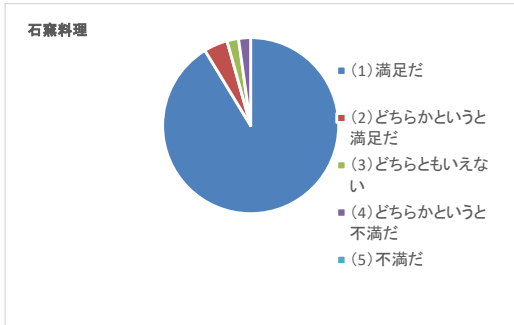
③ハンゴウ・羽釜ご飯体験

ハンゴウ・羽釜ご飯体験	件数	割合
(1) 満足だ	16	94.1%
(2) どちらかというと満足だ		0.0%
(3) どちらともいえない		0.0%
(4) どちらかというと不満だ	1	5.9%
(5) 不満だ		0.0%
総計	17	100.0%



④石窯料理体験

石窯料理体験	件数	割合
(1) 満足だ	42	91.3%
(2) どちらかというと満足だ	2	4.3%
(3) どちらともいえない	1	2.2%
(4) どちらかというと不満だ	1	2.2%
(5) 不満だ		0.0%
総計	46	100.0%



⑤ドラム缶風呂

ドラム缶風呂	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかというと満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかというと不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

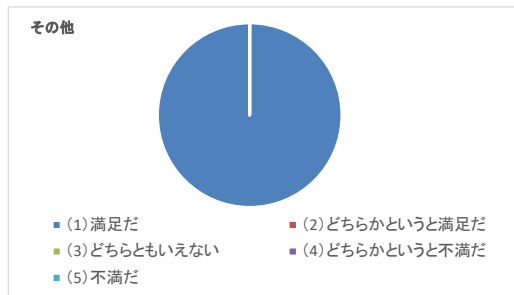
⑥夜プログラム

夜プログラム	件数	割合
(1) 満足だ		
(2) どちらかというと満足だ		
(3) どちらともいえない		
(4) どちらかというと不満だ		
(5) 不満だ		
総計		

※新型コロナウイルス拡大防止対策のため実施していない。

⑦その他

その他	件数	割合
(1) 満足だ	3	100.0%
(2) どちらかというと満足だ	0	0.0%
(3) どちらともいえない	0	0.0%
(4) どちらかというと不満だ	0	0.0%
(5) 不満だ	0	0.0%
総計	3	100.0%



※「無回答」については件数に含んでいません。

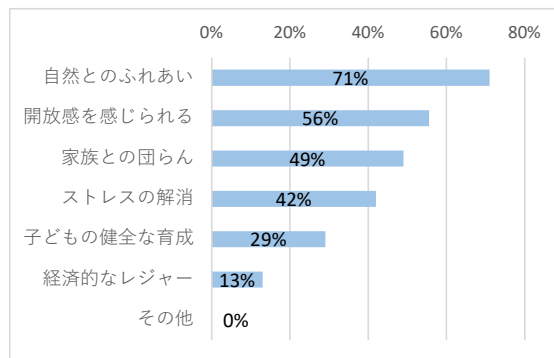
令和2年度札幌市定山溪自然の村モニタリング調査（夏期）

モニタリング実施期間：令和2年9月1日～令和2年9月30日
配布数200件 回収数200件 回収率100%

※単数回答は無回答を除いた有効回答数Nをもとに円グラフにて示す。
※複数回答は全体が100%を超えるため、横棒グラフにて示す。

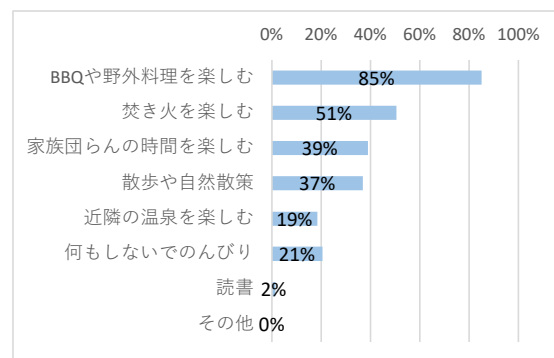
1 キャンプの魅力について N=200：複数回答（件）

	全体	200
自然とのふれあい	142	71%
開放感を感じられる	111	56%
家族との団らん	98	49%
ストレスの解消	84	42%
子どもの健全な育成	58	29%
経済的なレジャー	26	13%
その他	0	0%



2 キャンプ場での過ごし方 N=200：複数回答（件）

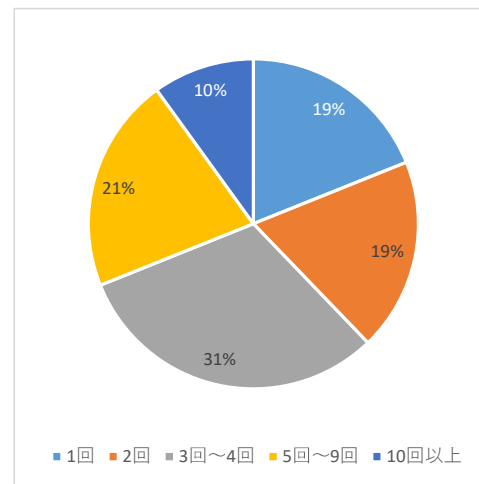
	全体	200
BBQや野外料理を楽しむ	170	85%
焚き火を楽しむ	101	51%
家族団らんの時間を楽しむ	78	39%
散歩や自然散策	74	37%
近隣の温泉を楽しむ	37	19%
何もしないでのんびり	41	21%
読書	3	2%
その他	0	0%



3 キャンプ場での滞在期間

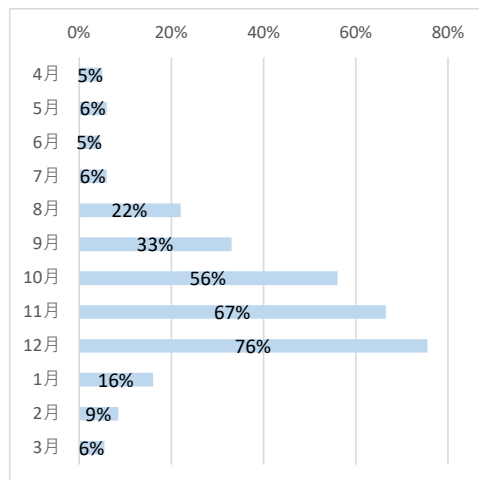
①【年間のキャンプ回数】 N=179：単数回答（件）

	全体	179
1回	34	19%
2回	34	19%
3回～4回	56	31%
5回～9回	38	21%
10回以上	17	10%



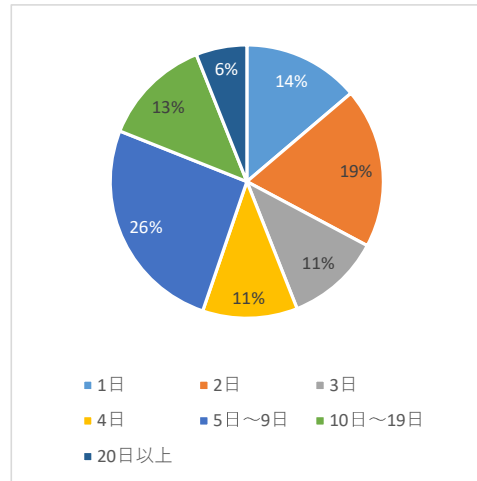
②【キャンプを行った月】 N=200：複数回答（件）

	全体	200
4月	10	5%
5月	12	6%
6月	9	5%
7月	12	6%
8月	44	22%
9月	66	33%
10月	112	56%
11月	133	67%
12月	151	76%
1月	32	16%
2月	17	9%
3月	11	6%



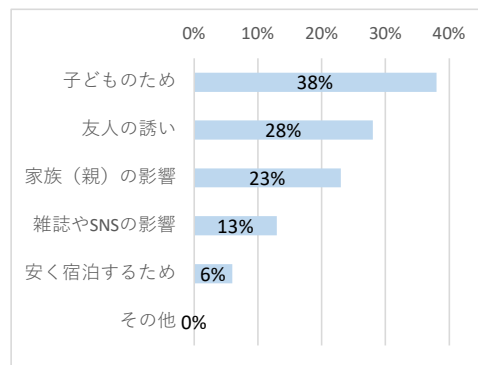
④【年間延べキャンプ泊数】 N=115：単数回答（件）

	全体	115
1日	16	14%
2日	22	19%
3日	13	11%
4日	13	11%
5日～9日	29	26%
10日～19日	15	13%
20日以上	7	6%



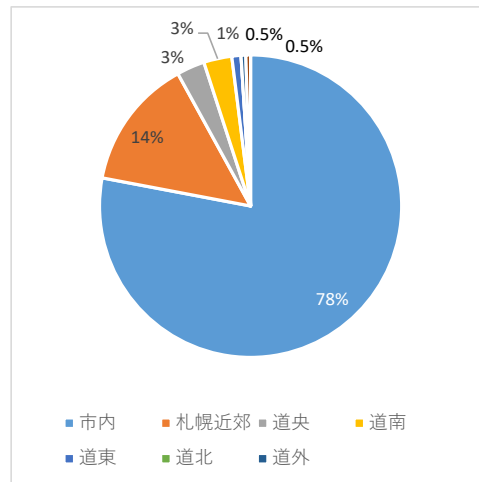
4 キャンプを始めたきっかけ N=200：複数回答（件）

	全体	200
子どものため	76	38%
友人の誘い	56	28%
家族（親）の影響	46	23%
雑誌やSNSの影響	26	13%
安く宿泊するため	12	6%
その他	0	0%



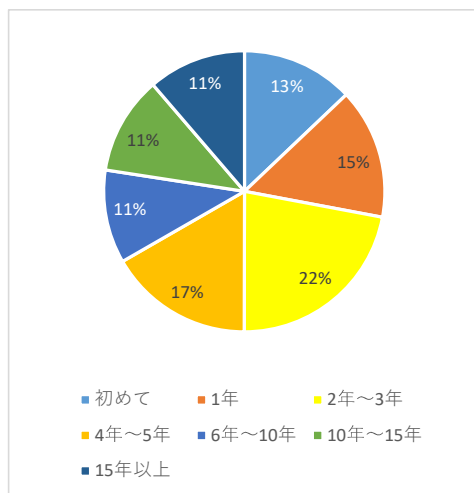
5 利用者の居住地 N=200：単数回答（件）

	全体	200
市内	156	78%
札幌近郊	28	14%
道央	6	3%
道南	6	3%
道東	2	1%
道北	0	0%
道外	1	0.5%
海外	1	0.5%



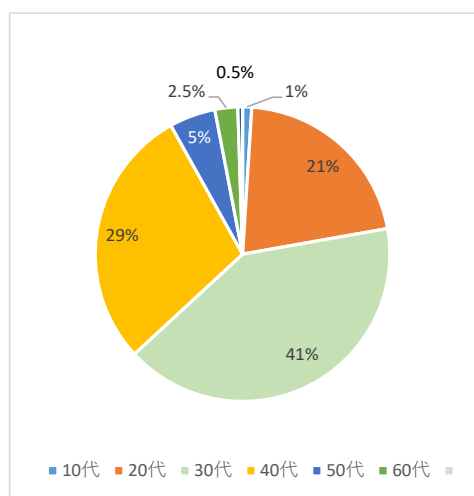
6 キャンプの経験年数 N=185 : 単数回答 (件)

	全体	185
初めて	23	13%
1年	28	15%
2年～3年	41	22%
4年～5年	31	17%
6年～10年	20	11%
10年～15年	21	11%
15年以上	21	11%



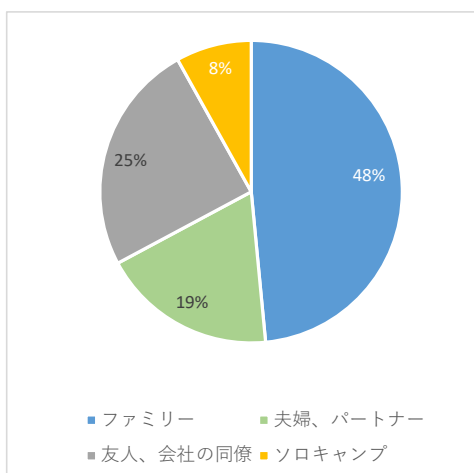
7 活動中心者の年齢 N=198 : 単数回答 (件)

	全体	198
10代	2	1%
20代	42	21%
30代	81	41%
40代	57	29%
50代	10	5%
60代	5	2.5%
70代以上	1	0.5%



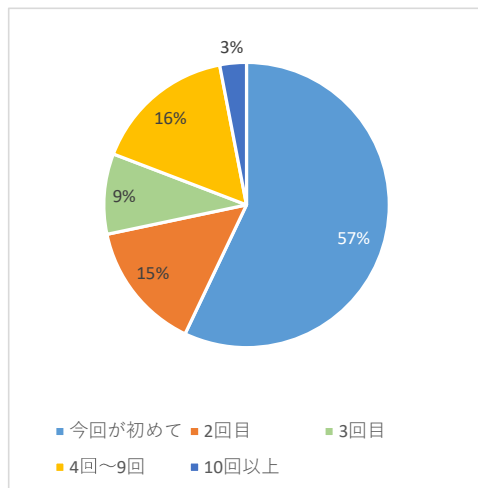
8 キャンプの同行者 N=198 : 単数回答 (件)

	全体	198
ファミリー	96	48%
夫婦、パートナー	37	19%
友人、会社の同僚	49	25%
ソロキャンプ	16	8%



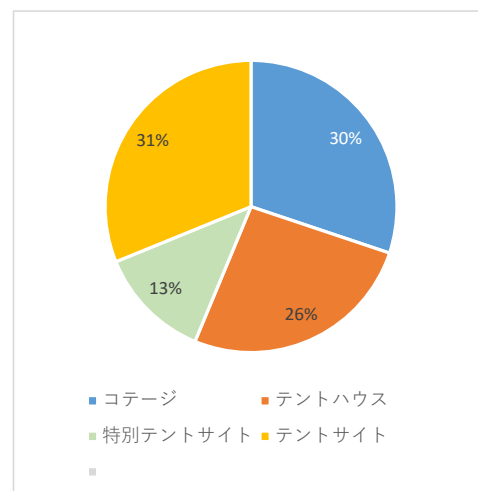
9 自然の村の利用回数 N=198：複数回答（件）

	全体	198
今回が初めて	113	57%
2回目	29	15%
3回目	18	9%
4回～9回	32	16%
10回以上	6	3%



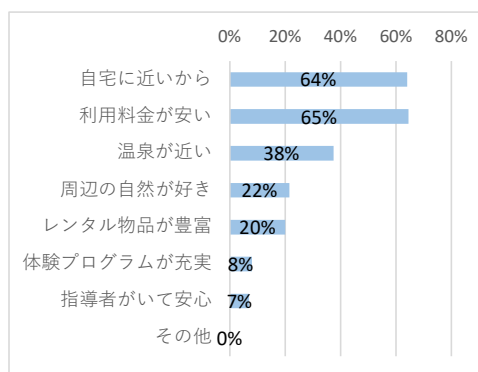
10 今回利用した施設 N=199：単数回答（件）

	全体	199
コテージ	60	30%
テントハウス	52	26%
特別テントサイト	25	13%
テントサイト	62	31%



11 自然の村を選ばれた理由 N=200：複数回答（件）

	全体	200
自宅に近いから	128	64%
利用料金が安い	129	65%
温泉に近い	75	38%
周辺の自然が好き	43	22%
レンタル物品が豊富	40	20%
体験プログラムが充実	16	8%
指導者がいて安心	14	7%
その他	0	0%



1 2 薪の持ち込みについて N=182：複数回答（件）

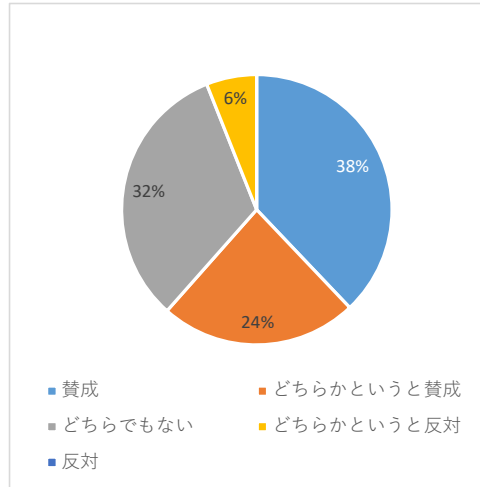
	全体	182
賛成	69	38%
どちらかという賛成	43	24%
どちらでもない	59	32%
どちらかという反対	11	6%
反対	0	0%

【賛成の理由】

前回のキャンプで余った薪を使用できる 他6件
 自分好みの薪を使える 他4件
 間伐材が活用できる
 適量で使用できるから
 買うと高いから

【どちらかという反対の理由】

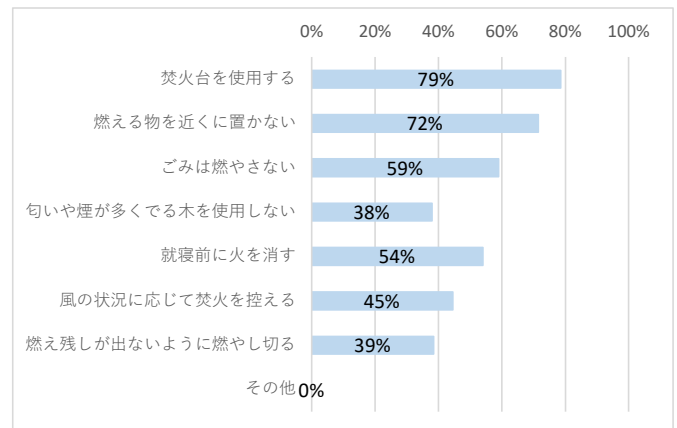
薪が安いので問題ない。荷物も減らせる 他3件
 粗悪な薪は煙が多く迷惑
 臭いが出たりしそう
 焚き火にあわない木を使うと危険
 何でも燃やされると迷惑



1 3 焚火をする時に気を付けなければいけないと思うこと

N=200：複数回答（件）

	全体	200
焚火台を使用する	157	79%
燃える物を近くに置かない	143	72%
ごみは燃やさない	118	59%
匂いや煙が多くでる木を使用しない	76	38%
就寝前に火を消す	108	54%
風の状況に応じて焚火を控える	89	45%
燃え残しが出ないように燃やし切る	77	39%
その他	0	0%



1 4 今後、自然の村にあれば良いと思う物品

【レンタル物品】

- ・ベグ
- ・子どもの遊び道具
- ・新製品のモニタリングなど

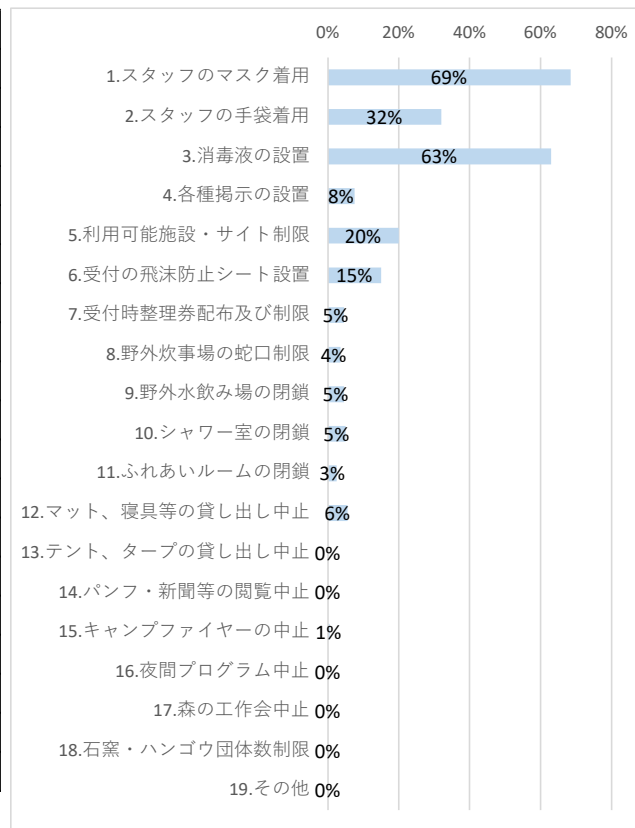
【販売物品】

- ・缶詰
- ・ランタン用オイル
- ・米
- ・食材・ビール
- ・紙コップ
- ・キャンプ用品全般
- ・手洗い石鹸

15 新型コロナウイルス拡大防止策について

【良い点】

	全体	200
1.スタッフのマスク着用	137	69%
2.スタッフの手袋着用	64	32%
3.消毒液の設置	126	63%
4.各種掲示の設置	15	8%
5.利用可能施設・サイト制限	40	20%
6.受付の飛沫防止シート及びパネル設置	30	15%
7.受付時整理券配布及び受付可能数の制限	9	5%
8.野外炊事場の蛇口制限	7	4%
9.野外水飲み場の閉鎖	9	5%
10.シャワー室の閉鎖	10	5%
11.ふれあいルームの閉鎖	5	3%
12.テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	11	6%
13.テント、タープの貸し出し中止	0	0%
14.各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	0	0%
15.キャンプファイヤーの中止	1	1%
16.夜間プログラム中止	0	0%
17.森の工作会中止	0	0%
18.石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	0	0%
19.その他	0	0%



【不満に思った点】

	全体	200
1.スタッフのマスク着用	1	1%
2.スタッフの手袋着用	0	0%
3.消毒液の設置	1	1%
4.各種掲示の設置	0	0%
5.利用可能施設・サイト制限	10	5%
6.受付の飛沫防止シート及びパネル設置	0	0%
7.受付時整理券配布及び受付可能数の制限	2	1%
8.野外炊事場の蛇口制限	1	1%
9.野外水飲み場の閉鎖	6	3%
10.シャワー室の閉鎖	33	17%
11.ふれあいルームの閉鎖	5	3%
12.テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	20	10%
13.テント、タープの貸し出し中止	11	6%
14.各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	1	1%
15.キャンプファイヤーの中止	9	5%
16.夜間プログラム中止	11	6%
17.森の工作会中止	1	1%
18.石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	0	0%
19.その他	0	0%



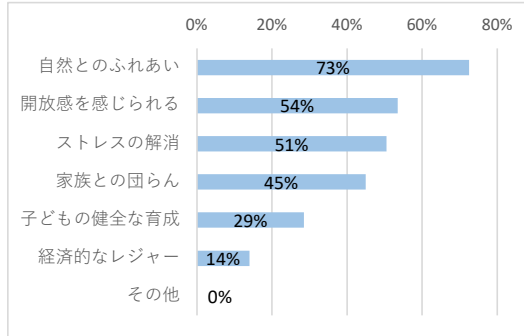
令和2年度札幌市定山溪自然の村モニタリング調査（冬期）

モニタリング実施期間：令和3年1月4日～令和3年3月31日
 配布数200件 回収数200件 回収率100%

※単数回答は無回答を除いた有効回答数Nをもとに円グラフにて示す。
 ※複数回答は全体が100%を超えるため、横棒グラフにて示す。

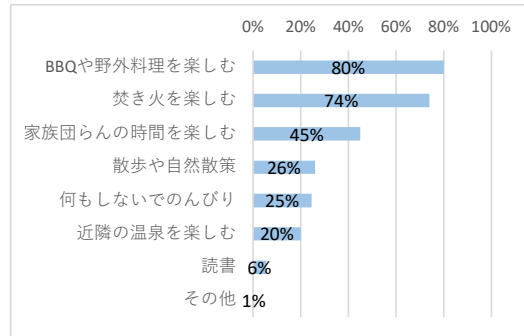
1 キャンプの魅力について N=200：複数回答（件）

	全体	200
自然とのふれあい	145	73%
開放感を感じられる	107	54%
ストレスの解消	101	51%
家族との団らん	90	45%
子どもの健全な育成	57	29%
経済的なレジャー	28	14%
その他	0	0%



2 キャンプ場での過ごし方 N=200：複数回答（件）

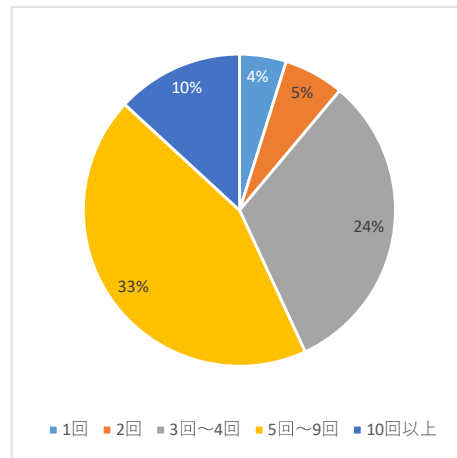
	全体	200
BBQや野外料理を楽しむ	160	80%
焚き火を楽しむ	148	74%
家族団らんの時間を楽しむ	90	45%
散歩や自然散策	52	26%
何もしないでのんびり	49	25%
近隣の温泉を楽しむ	40	20%
読書	11	6%
その他	1	1%



3 キャンプ場での滞在期間

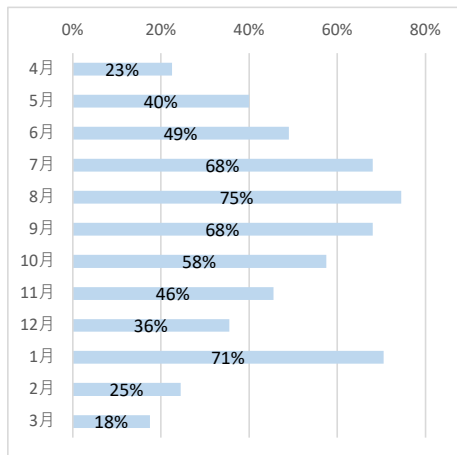
①【年間のキャンプ回数】 N=189：単数回答（件）

	全体	189
1回	7	4%
2回	9	5%
3回～4回	46	24%
5回～9回	63	33%
10回以上	64	10%



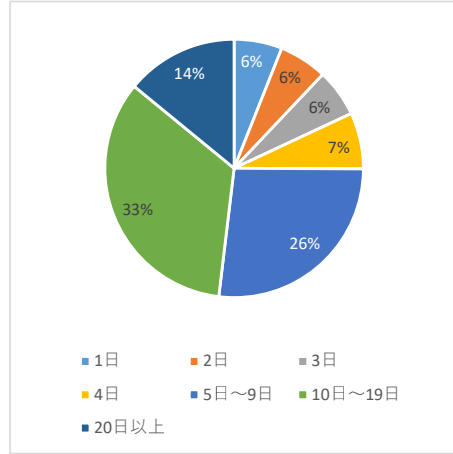
②【キャンプを行った月】 N=200：複数回答（件）

	全体	200
4月	45	23%
5月	80	40%
6月	98	49%
7月	136	68%
8月	149	75%
9月	136	68%
10月	115	58%
11月	91	46%
12月	71	36%
1月	141	71%
2月	49	25%
3月	35	18%



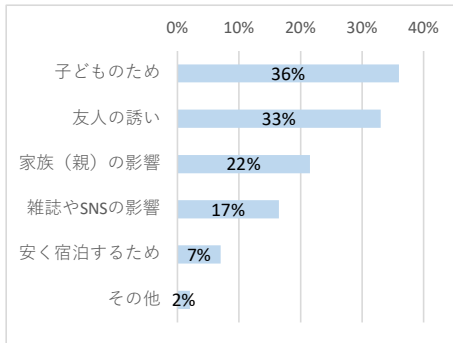
④【年間延べキャンプ泊数】 N=103：単数回答（件）

	全体	103
1日	6	6%
2日	6	6%
3日	6	6%
4日	7	7%
5日～9日	30	26%
10日～19日	34	33%
20日以上	14	14%



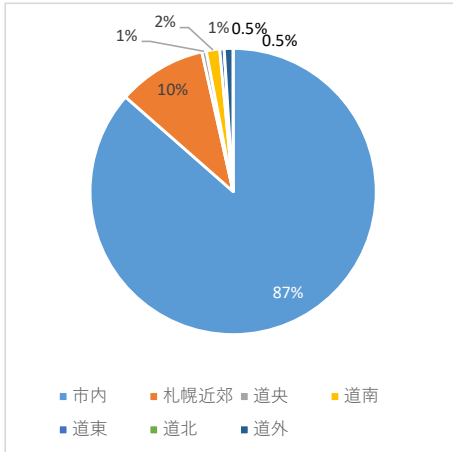
4 キャンプを始めたきっかけ N=200：複数回答（件）

	全体	200
子どものため	72	36%
友人の誘い	66	33%
家族（親）の影響	43	22%
雑誌やSNSの影響	33	17%
安く宿泊するため	14	7%
その他	4	2%



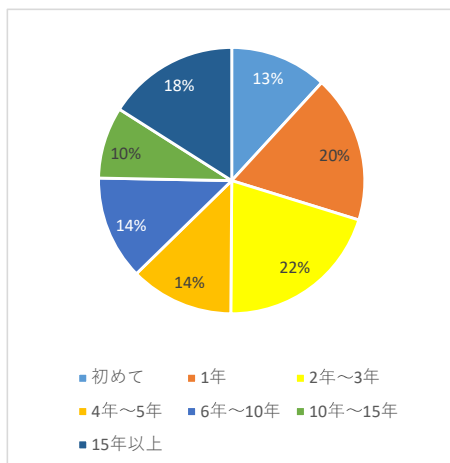
5 利用者の居住地 N=200：単数回答（件）

	全体	200
市内	173	87%
札幌近郊	20	10%
道央	1	1%
道南	3	2%
道東	1	1%
道北	0	0%
道外	2	1.0%
海外	0	0.0%



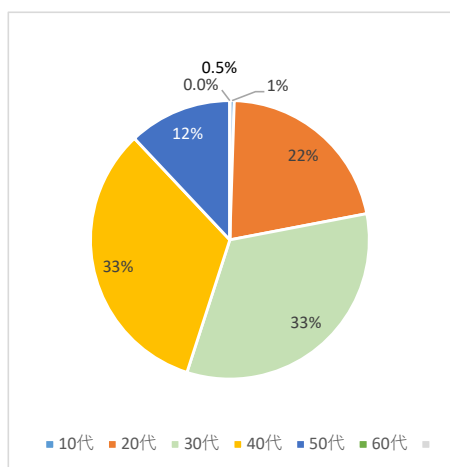
6 キャンプの経験年数 N=188：単数回答（件）

	全体	188
初めて	6	13%
1年	37	20%
2年～3年	42	22%
4年～5年	26	14%
6年～10年	26	14%
10年～15年	18	10%
15年以上	33	18%



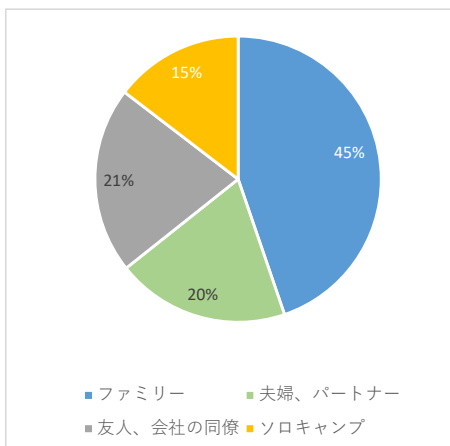
7 活動中心者の年齢 N=200：単数回答（件）

	全体	200
10代	1	1%
20代	43	22%
30代	66	33%
40代	66	33%
50代	24	12%
60代	0	0.0%
70代以上	0	0.0%



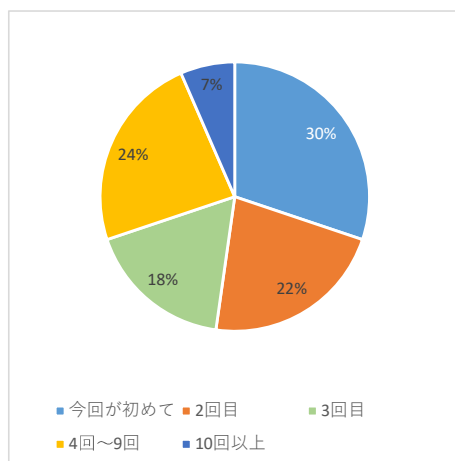
8 キャンプの同行者 N=199：単数回答（件）

	全体	199
ファミリー	89	45%
夫婦、パートナー	39	20%
友人、会社の同僚	42	21%
ソロキャンプ	29	15%



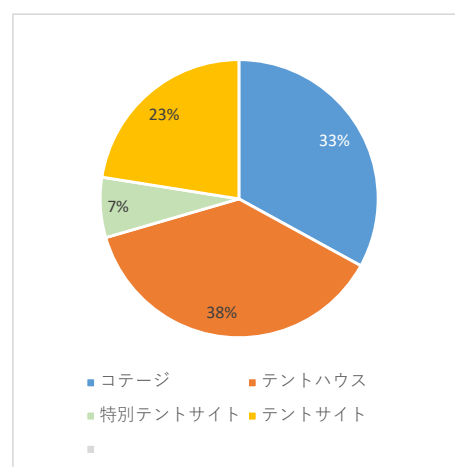
9 自然の村の利用回数 N=199：複数回答（件）

	全体	199
今回が初めて	60	30%
2回目	44	22%
3回目	35	18%
4回～9回	47	24%
10回以上	13	7%



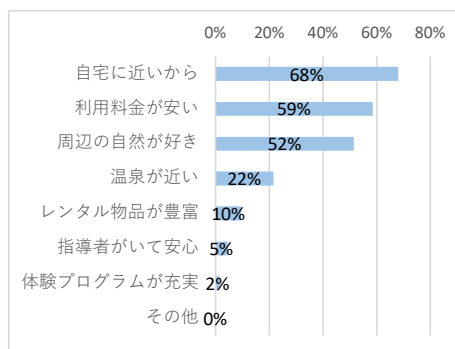
10 今回利用した施設 N=200：単数回答（件）

	全体	200
コテージ	66	33%
テントハウス	75	38%
特別テントサイト	14	7%
テントサイト	45	23%



11 自然の村を選ばれた理由 N=200：複数回答（件）

	全体	200
自宅に近いから	136	68%
利用料金が安い	117	59%
周辺の自然が好き	103	52%
温泉に近い	43	22%
レンタル物品が豊富	19	10%
指導者がいて安心	9	5%
体験プログラムが充実	3	2%
その他	0	0%



1 2 薪の持ち込みについて N=185：複数回答（件）

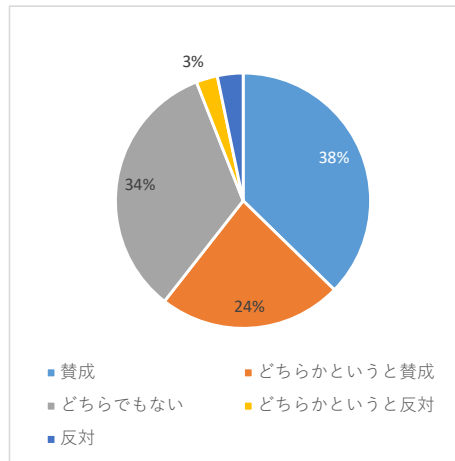
	全体	185
賛成	69	38%
どちらかという賛成	43	24%
どちらでもない	62	34%
どちらかという反対	5	3%
反対	6	3%

【賛成の理由】

好みの薪を使いたい 5件
 事前に薪割したい(焚き火台の大きさに合わせたい) 2件
 乾燥した薪を使いたい 2件
 買うと高いから 2件
 適量を使いたい 1件

【どちらかという反対の理由】

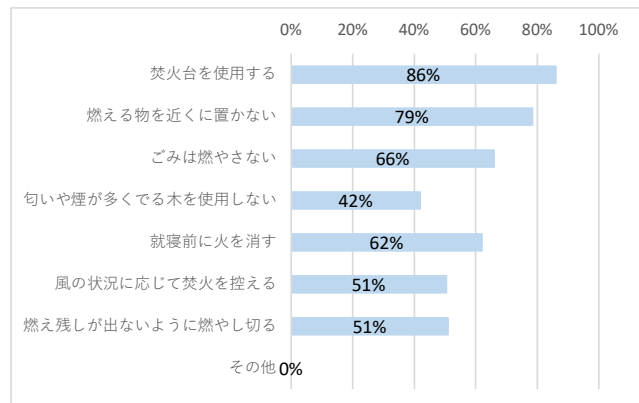
薪が安いので問題ない。荷物も減らせる 2件
 何でも燃やす可能性があるから 2件
 きれいに使えない人が出てきそうだから 1件
 周囲の山林が正しく保護されないから 1件



1 3 焚火をする時に気を付けなければいけないと思うこと

N=200：複数回答（件）

	全体	200
焚火台を使用する	172	86%
燃える物を近くに置かない	157	79%
ごみは燃やさない	132	66%
匂いや煙が多くでる木を使用しない	84	42%
就寝前に火を消す	124	62%
風の状況に応じて焚火を控える	101	51%
燃え残しが出ないように燃やし切る	102	51%
その他	0	0%



1 4 今後、自然の村にあれば良いと思う物品

【レンタル物品】

- ・斧
- ・コップ
- ・望遠鏡

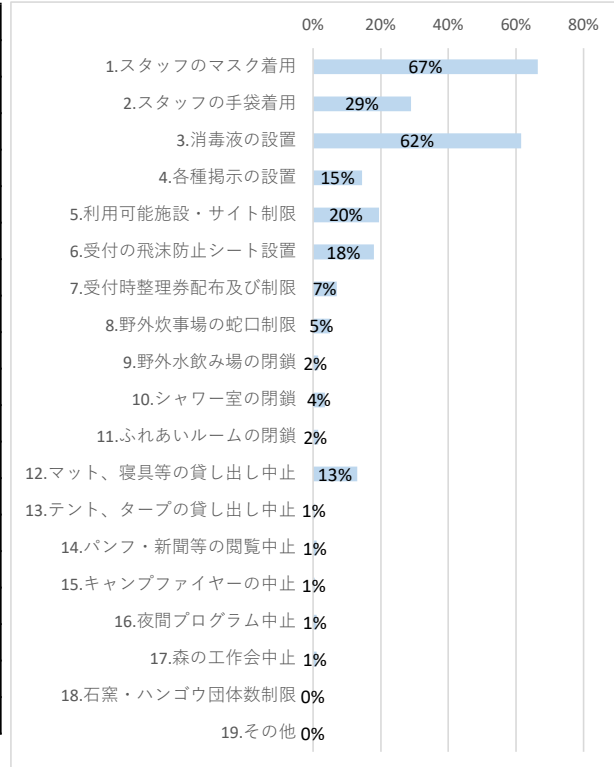
【販売物品】

- ・食料品
- ・調味料
- ・ミネラルウォーター（2L）
- ・ビール、アルコール類
- ・プラコップ
- ・薪ストーブ用の短い薪

15 新型コロナウイルス拡大防止策について

【良い点】

	全体	200
1.スタッフのマスク着用	133	67%
2.スタッフの手袋着用	58	29%
3.消毒液の設置	123	62%
4.各種掲示の設置	29	15%
5.利用可能施設・サイト制限	39	20%
6.受付の飛沫防止シート及びパネル設置	36	18%
7.受付時整理券配布及び受付可能数の制限	14	7%
8.野外炊事場の蛇口制限	10	5%
9.野外水飲み場の閉鎖	3	2%
10.シャワー室の閉鎖	7	4%
11.ふれあいルームの閉鎖	3	2%
12.テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	26	13%
13.テント、タープの貸し出し中止	1	1%
14.各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	2	1%
15.キャンプファイヤーの中止	1	1%
16.夜間プログラム中止	2	1%
17.森の工作会中止	2	1%
18.石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	0	0%
19.その他	0	0%



【不満に思った点】

	全体	200
1.スタッフのマスク着用	1	1%
2.スタッフの手袋着用	0	0%
3.消毒液の設置	1	1%
4.各種掲示の設置	1	1%
5.利用可能施設・サイト制限	5	3%
6.受付の飛沫防止シート及びパネル設置	0	0%
7.受付時整理券配布及び受付可能数の制限	0	0%
8.野外炊事場の蛇口制限	3	2%
9.野外水飲み場の閉鎖	3	2%
10.シャワー室の閉鎖	15	8%
11.ふれあいルームの閉鎖	3	2%
12.テントマット、毛布、寝具、寝袋の貸し出し中止	21	11%
13.テント、タープの貸し出し中止	9	5%
14.各種パンフレット及び新聞、雑誌の閲覧中止	2	1%
15.キャンプファイヤーの中止	7	4%
16.夜間プログラム中止	19	10%
17.森の工作会中止	1	1%
18.石窯・ハンゴウ体験受け入れ団体数制限	0	0%
19.その他	0	0%

